

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和8年5月1日 第70号
奈良県下市町教育委員会
教育長 上東 祥浩 発行

入学式・入園式 ～あきつ学園・子ども園～

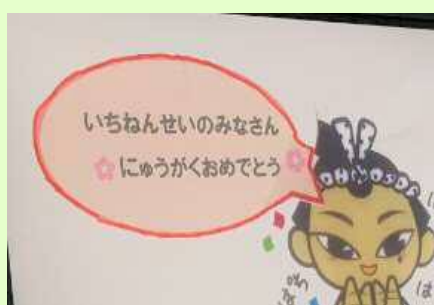
🌸 4月7日(火)、あきつ学園の入学式が挙行されました。うららかな春の日差しの中、新入生の15名が、保護者の皆様や上級生に見守られ胸を張って、入場してきました。上級生は、『あきつ学園』の校歌を元気よく、素晴らしい歌声で歌い、新入生を温かく歓迎しました。あきつ学園の河崎校長先生は、「『思いやり』と『やってみよう』という気持ちを大切に、たくさんのことにチャレンジして、楽しい学校生活を送りましょう。」というお話をされ、新入生にエールを贈りました。【下市あきつ学園全児童生徒数(163名) R8.4.1現在】



🌸 4月10日(金)、こども園の入園式が行われました。桜や色とりどりのチューリップやパンジーの花が、5名の入園児を出迎えました。こども園の梅田園長先生は、「こども園には、ワクワクすることがいっぱいあります。みんなといっしょに歌をうたったり、おいしい給食をしっかり食べて、毎日笑顔で過ごしましょう。」とやさしくお話をされました。【下市こども園全園児数(19名) R8.4.1現在】



スクールバス運転手さん いつもありがとうございます。



▼スクールバス運転手さんには、いつも児童生徒を安全に送迎いただき心より感謝申し上げます。▼6台のスクールバスには、新1年生を温かく迎えようと運転手さん手作りの『ウェルカムボード』をバスの座席前に掲示していただきました。▼さらに、あきつ学園周辺のカーブミラーをモップや雑巾などで汚れを落として、車両や歩行者に見やすく安心して利用できる環境を整えていただきました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

初心忘るべからず

～能学を大成した世阿弥のお言葉～

『初心忘るべからず』ということのお話を以前、全校集会で生徒たちにしたことがあります。そのことを思い出したので、記載させていただきます。「▼『初心忘るべからず』は、室町時代の能楽の大成者である、世阿弥の『花鏡』という書物に出てきます。そこには、『初心』という言葉には、三つの意味があるとされています。▼まず一つ目の『初心』は、何事も最初は間違えたり、失敗もする。自分自身の未熟さとその悔しさを忘れるなということ。▼二つ目の『初心』は、努力や修行によって、初めて何かができた感動や喜びの気持ちを忘れるなということ。▼三つ目の『初心』は、年と経験を重ね、物事が上手にできるようになっても、常に向上心を持ち、たゆまぬ努力を忘れるなということ。▼これら三つの『初心』に共通していることは、長い人生の様々なステージにおいて、自分の未熟さを受け入れながら、新しいことにチャレンジしていく心構えやその姿勢を大切にしなければならないということです。」▼このことは、人生そのものを貫く万能のメッセージです。今を生きる私たちの教訓として、改めて心に刻みたいと思います。



Topic news

ニュースポーツ体験会



3月29日(日)、下市町総合体育館にてニュースポーツ体験会が開催されました。約40名の方々が、モルック、ボッチャ、囲碁ボール、ゲートボールの4競技を体験されました。

第1回下市町グラウンド・ゴルフ月例大会



4月19日(日)、下市町中央公園グラウンドで、第1回グラウンドゴルフ月例大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。大会結果は、次のとおりです。【敬称略】

【男性の部】	スコア	【女性の部】	スコア
第1位 嶋田 勇次	47	第1位 梅本 延代	51
第2位 小西 正夫	54	第2位 瀬川 仕	57
第3位 楳北 資郎	57	第3位 前 寿美代	60

▼5月は、暦の上で、二十四節気の「立夏(りっか)」を迎え、夏の気配が立ち始める季節となります。▼空が晴れ渡る「五月晴れ(さつきばれ)」や、若葉の上を渡る爽やかな風「薫風(くんぷう)」など、気候の良さを表す言葉が多く使われます。



ご意見・お問い合わせは…

下市町教育委員会事務局

☎ 0747-52-1711

FAX 0747-52-5159

✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp